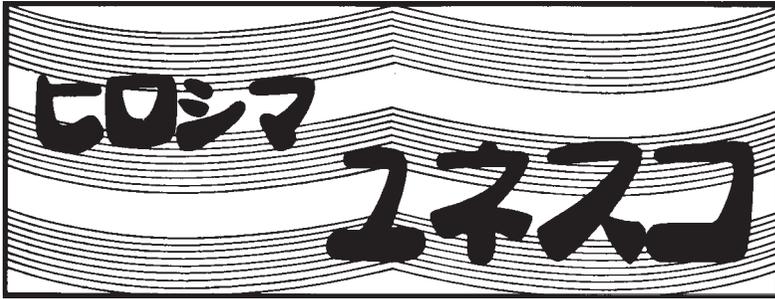


2011・3・11東日本大震災

この度の大地震で犠牲になられた皆様のご冥福を心からお祈り申し上げますと共に、被災された方々の一日も早い復帰、地域の復興を願ってやみません。



今こそ連帯と支え合いの心強く

被爆66年

広島ユネスコ協会

二〇一一年度総会開く

北川会長を選出（再任）

決算報告では、会計から一般会計の決算、原爆ドーム

進め、深めることとなりました。事業計画では各部長から昨年度の反省を基にした事業計画案が説明され、本年度予算案については会計から説明がありました。

二〇一一年広島ユネスコ協会総会を五月二十二日（土）、広島市三篠公民館で開催いたしました。はじめに事務局から前年

度の重点方針や分野別方針の報告があり、その後、各部の事業報告では各部長から昨年度の事業評価をまじえた報告がありました。

た「大本営発表」の過ちを繰返していたようです。ユネスコの精神は、敗戦直後から日本にとって、すばら

役員改正については北川会長以下多くの役員が引き続き再任で、一部新役員が入るといふ役員案が出され、決定しました。総会議事の概要は、次（二ページ）のとおりです。

会長就任に当たって 北川建次

また新会長就任となり、恐縮しております。「年々歳々花あい似たり」と申しますが、不易のものは何でしょうか。「年々歳々人同じからず」の方が目につきやすいこの頃です。

9・11から3・11へ、テロ、核テロの恐怖、原発の

安全神話の崩壊と、世の転変変化は次々と起るようである。崩れた原発の安全神話

しいものでした。人間の心の中に平和の砦を築いて行かなければなりません。それに加えて、人間の心の中の変化を見のろがしてはいけません。これからは、老子のことばのように、「足るを知る」、「欲望の限りをつくし、ぜいたくのかぎり

を尽くす生活を改めねばなりません。さらに科学技術万能、この世の中は、すべてわかっているかのような昨今のふるまいを反省し、改める必要があります。湯川秀樹博士も、いみじくも述べられたように、「人知の及ばざる所あるを知る」ことが大切です。

人知の及ばざる所あるを知る

「科学技術万能を反省し改めよ」（湯川博士の言葉）

す。知らず知らずの内に、ま

かなければなりません。

人間は一秒先のこともわかりません。東日本震災の夥しい死者のご冥福を祈りつつ、新しい広島ユネスコの活動に邁進していきま



【きたがわ・けんじ】

広島大学名誉教授、広島市平和文化センター理事、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟理事、元日本ユネスコ国内委員。1999年から現会長に。昭和20年8月6日、竹屋国民学校（現・広島市立竹屋小学校）5年生（10歳）の時、被爆。母と弟を亡くした。

るを知る」、「欲望の限りをつくし、ぜいたくのかぎり

る。新しい広島ユネスコの活動に邁進していきま

各部会の活動充実へ

前年度の事業報告

まず、専門部門の主な事業を報告します。

「広島ユネスコ協会紹介」リーフレット作成は骨子が決まりました。青少年対象語学講座では青少年セ

ンターと共催し、多数の青年の参加がありました。「ユネスコ活動奨励賞」は熱心な取り組み活動をされた学

校部門4校、社会部門6団体が受賞されました。ユネスコサロン・出前講座・現地講座では多くの市民の参加がありました。韓国ユネスコ大邱協会友好訪問団が来

訪し、湯来ロッジの宿泊、特別養護老人ホーム神山山長生園見学、会員宅でのホームビジットなどを行い、お互いが団体の友好親善を深めました。「平和関連」では平和の鐘、国内一斉行動を平和記念公園「平和の鐘」鐘楼前広場で行い、会長挨拶、広大付属高校ユネスコクラブ代表やタイから

の広島市研修生のメッセー

ジ披露、特別ゲスト「平和の鐘」鑄造家 香取正彦さん次男ご夫婦が参加され、正午、黙祷、打鐘をいたしました。

「杉並ユネスコクラブ青年部広島スタディー」を13年間継続して実施しました。

機関紙「ヒロシマ・ユネスコ」発行年間3回、新企画など充実した紙面づくりを心がけ、ホームページ

も情報掲載に努めました。

協会の紹介リーフレットを作成

平和、大邱交流、青少年育成、「サロン」を推進

本年度の事業計画

〈重点方針として〉

1. 青少年活動の振興と青少年の育成対策を確立する。
2. 世界遺産（地域文化財）

景観の保護、啓発、理解を深める活動に努める。
3. 「平和の文化」を築く活動を推進する。

4. 組織の活性化に務める
―など、前年度の目標を継続することで承認されました。

〈専門部会の主な計画〉

組織部会は「広島ユネスコ協会紹介」リーフレットの作成。青少年育成部会は「ユネスコ活動理解のための講座」の開設に努めます。教育部会は広島ユネスコ活動奨励賞の充実と「ユネスコスクール」支援を具現化するために、広島県ユネスコ連絡協議会との連携を含め、検討していきます。

文化部会は「ユネスコサロン」を公民館などと共催して、出前講座を継続するとともに「ユネスコサロン」の企画運営をより充実していきます。国際部会は「韓国ユネスコ大邱協会への訪問団の結成・実施をします。平和・世界遺産部会は「平和の鐘」のつどいや杉並・ユネスコ協会青年部広島スタディーツアー受け入れ事業、原爆ドーム世界

遺産登録記念ハガキ普及など、平和・世界遺産関連事業を充実していきます。広報部会は機関紙「ヒロシマ・ユネスコ」の年3回発行とホームページの充実を図ります。

新役員一覧

2年間よろしく願います。

▽名誉会長／松井一實
▽名誉顧問／平岡 敬

▽顧問 秋葉忠利
問／永井滋郎

伊東亮三
深崎敏之

▽副会長／北川建次
長／高橋昭博

木村進臣
中山修一

古田碩永
松原博子

理事
〈組織部会〉○☆松岡盛人
末重文男、平岡豊恵

井上哲一、☆中尾正敏
〈青少年育成部会〉○國田

繁、清水昌法、梶井朝子
☆木原 亮、松岡盛人兼

〈教育部会〉○崎岡光明

協会の会則を改正

広島ユネスコ協会の組織や財政の充実を図るために、第5条の5項に法人会員を入れ、第6条の4項には法人会員、年額一口1万円を入れました。

太鼓矢 晋、足立柳子
藤原隆範、谷原久資

☆世木田寛子
〈文化部会〉○井尾義信

新川貞之、谷 秀明
梶井朝子(兼)、☆山本隆信

〈国際部会〉○藤井正一
永田龍雄、中谷美保子

平井 勇、中道紘二
〈平和・世界遺産部会〉

○柴田幸子、由田千鶴子、宇野 豪、亀井 章

井上哲一(兼)
〈広報部会〉○藤川和康

岡平祐次、森木 学
〈事務局〉○事務局次長

藤井孝行、事務局次長
國田 繁(兼)、佐々木

肇、平井 勇(兼)
新畑志津夫

〈監 事〉黒瀬真一郎
☆竹沢臣子

○部会長、☆新任、(兼)兼任)

8・15に「平和の鐘を鳴らそう」

「平和の鐘」の集い20を、発信しましょう！
 11。「平和の鐘」を共に、願う。戦争や争いがな
 鳴らして、私達の願い誓い い世界を、誓う。こども



を暴力と戦争から守り、核兵器の無い世界を！
 日時 8月15日(月) 11:30
 場所 「平和の鐘」鐘楼前 (平和記念公園北側)
 鐘を打ち平和アピールを行います。
 酷暑の折柄、皆様には暑さ対策の上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。
 (平和・世界遺産部会 柴田幸子)

〔杉並・厚木の青年部(ユネスコ協会)の広島学習が13回を数える〕



広島を訪れた杉並・厚木の青年部の皆さんと広島ユネスコ協会のメンバー

杉並・厚木ユネスコ協会青年部の広島学習研修会は3月28日、31日の日程で行われました。
 (28日) 平和記念資料館見学、高橋昭博広島ユネスコ
高橋昭博さんが被爆証言



協会副会長より、被爆証言を聞く。手作りカレー夕食会と交流。

(29日) 平和公園碑めぐり、本川小学校被爆資料見学、中国管区司令部跡見学、旧日銀3階にて折鶴展覧。
 (30日) 広島港より宮島へ、また広島芸術科学校を見学。
 (31日) 広島解散。

このたびの受入れで特に印象深かったことは、今年で訪問7回という青年が、「毎回工夫を凝らして語られる高橋さんの講話に、何時も感動をしています」という言葉でした。

(柴田幸子)

広島県 ユネスコスクール

連絡協(学校間)が発足

広島県ユネスコスクール連絡協議会の設立総会と同協議会のESD研修会が、3月26日、三原市市民福祉会館で、広島県内小・中学校、高等学校の約百五十人の教師が参加して開かれ、オプザーバーで広島ユ協の北川建次、中山修一、山本隆信、亀井章、宮島ユ協の井口健、岡崎環の各氏が出席しました。

ESD

(学校における持続可能な開発のための教育)

を推進

環境や国際交流活動展開に期待

会の趣旨は「学校における持続可能な開発のための教育(ESD)推進のユネスコスクールが構成する連絡協議会の設立とESD研修会実施」。会前半の設立総会で規約、活動方針(年に3回の協議会開催)の審議に続いて役員選出が行われ、ここに広島県の全域を統べるユネスコ事業展開

のレールが敷かれました。ESD研修会では、県教委教育部長などの挨拶の後、福山市駅家小「地球時代を生きる環境教育」、山陽学園中等部「国際交流」の実践報告があり、白木高校の校長自ら報告した「中山間地の小規模校でESD

したがって今後は、学校のみが、会員で発足した協議会を相手に、県教委を介してユネスコと繋がる組織の構築を求めていくことになり。また、今回の会には当初、木曾功ユネスコ大使(前文部科学省統括審議官としてESD推進の要職にあった)の講演と、講演後に広島県内

の観念に立った環境教育の実践・研究の経過と成果は、一際出席者の注目を集めました。ところで、この会に関して補足解説をしておきます。一つは、広島県ユ協は、県教委に対して今回設立されたような協議会の結成を県教委とユネスコの間で図るべく申し入れていました。

(広島県ユネスコ連協 会長 亀井 章)

ユネスコ 憲章節文

戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない

ユネスコ・スクールに 加盟しませんか

パンフ を発行 目標や学習分野など紹介

「ユネスコ・スクールに加盟しませんか」と呼びかけるパンフレットがこのほか発行されました。ESD(持続発展教育)研究グループ(作成代表・中山修一広島大学名誉教授)によるもので、大きさはA4判を横長にして、三つ折りにしたものの。ユネスコ・スクールは、ユネスコの定めた世界共通の素晴らしい持続発展教育推進の拠点として位置づけられています。



7・19は 「民間ユネスコ運動の日」

7月19日は、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟が、ユネスコ活動の推進と全国ユ協会の連帯強化を目

的に、2006年1月に制定した「民間ユネスコ運動の日」です。この日は、戦後間もない1947年、宮城県仙台市に世界で最初の民間ユネスコ協会(当時は協力会)が誕生した意義ある日です。

おめでとうおめでとう

小笠原諸島、平泉が世界遺産登録

ユネスコ(国連教育科学文化機関)が推進する世界遺産に、東京都の小笠原諸島(自然遺産)と、岩手県の平泉(文化遺産)が世界遺産に登録されることが決まりました。本当に嬉しいことです。おめでとうござい

ます。日本での自然遺産登録化は、白神山、屋久島、知床に続いて4件目。また文化遺産は島根県の「石見

銀山遺跡とその文化的景観」以来4年ぶり、12件目です。

第一四五回ユネスコサロン(出前講座)

橋本勇夫いさおさんが
ギター演奏

今年も「ひろしまフライフエスティバル」の会場で、広島市と韓国・大邱広域市の姉妹都市提携(1997年5月2日)を記念した友好イベントが、5月3日、5日、にぎやかに開かれました。「大邱の日実行委員会」(広島ユネスコ協会など28団体)が企画・推進。メインステージでは、扇子舞(写真)などの踊りが披露されるとともに、マダン(広場)では、韓国料理などが販売され、にぎわいました。

韓国「大邱の日」記念イベント

広島ユネスコ協会主催の第一四五回ユネスコサロン(出前講座)が、3月19日(土)、広島市西区の己斐

公民館で開かれました。ギタリストの橋本さんは、日本でただ一人のオルゴール作曲家。この日は、「星空の下で」「禁じられた遊び」など十三曲を演奏。演奏テーマの「輝いて生きる」について、自らの体験を交えながら、人との出会いを大事に、輝いて生きることの大切さを訴えま



た。今年も「ひろしまフライフエスティバル」の会場で、広島市と韓国・大邱広域市の姉妹都市提携(1997年5月2日)を記念した友好イベントが、5月3日、5日、にぎやかに開かれました。「大邱の日実行委員会」(広島ユネスコ協会など28団体)が企画・推進。メインステージでは、扇子舞(写真)などの踊りが披露されるとともに、マダン(広場)では、韓国料理などが販売され、にぎわいました。

第一四六回ユネスコサロン

学芸員の篠原さんが
「金箔瓦と広島城」で講演

5月22日(日)、三篠公民館で開かれたユネスコサロンでは、広島城学芸員の篠原達也さんが、安土桃山時代から江戸時代初期の城郭建築で用いられた、金箔

瓦について講演。篠原学芸員は合同庁舎建築の事前の発掘調査の際、全国初の例として、雌雄一対の金箔鯉瓦が出土した広島城の歴史や特徴、瓦の文様などについて、専門の立場から分かりやすく解説。興味深い講演となりました。



第一四七回ユネスコサロン

星教授が福島の
原発事故で講演

7月16日に行われた第一四七回ユネスコサロンでは、講師の広島大学原爆放射線医学研究所の星正治教授が、3・11東日本大震災に伴う原子力発電所事故について講演。土壌汚染の広がりや、今後の対策などについて話されました。

被爆電車に乗って 一九四五年を語る

今年で四回目となる「被爆電車に乗って一九四五年を語る」乗車体験（主催2007+7平和、後援・広島ユネスコ協会など）が、7月2日に行われました。
コースはJ R横川駅前始発で、十日市↓八丁堀↓白

鳥電停。白鳥下車後、軍都・広島市の歴史の遺産施設を見て回りました。

参加者を募っています

今年10月、広島ユネスコが大邱市へ親善訪問が広島ユネスコ協会は、今秋10月10日（月・祝）から14日までの四泊五日（その

うち二泊は船中）の旅程で、韓国ユネスコ大邱協会を友好訪問します。

親善交流は姉妹都市を結ぶ両市のユネスコ協会が、相互交流しているもので、交流会や施設見学、ホームビジットなどの楽しい、有意義な催し物が多数企画されています。参加者を募集しています。

日誌

（11年3月）
26日／広島県ユネスコスクー
ル連絡協議会設立総会・E
SD研修会 （三原市）
27日／ユネスコパンフレット
編集会議
（芸備保険センター）
28～31日／第13回杉並ユネス
コ協会青年部広島学習「被

爆証言」高橋副会長・平和記念公園慰霊碑めぐりほか
（4月）
7日／大邱の日実行委員会
（5月）
3～5日／大邱の日・姉妹都市交流ほか （平和大通り）
12日／理事会 総会議案協議（国際会議場）
22日／第一四六回ユネスコサ
ロン「金箔瓦と広島城の歴史」広島城学芸員篠原達也
さん （三篠公民館）
22日／平成23年度通常総会
（三篠公民館）

教育部会理事

足立柳子さん



学校勤めで定年を迎えた時、すでに入会して居られたある先輩からご紹介頂きました。
これからは、幅広い社会をと考えていましたので、二つ返事をお願いしましたが、協会の活動の素晴らしさに胸を打たれました。
とり分け、理事の皆様が、各々の部会で企

画・実践に心をこめて

取り組んでおられる姿

はかつて、子ども達と読んだユネスコ憲章前文の精神に繋がっていると実感しています。
私の入会から、年数は経っていますが、自身の広島ユネスコ協会へのお役立ちは、「活動奨励賞」の表彰状を手書きで作成させていた

だいています。
せめて、理事会と二ヶ月に一回のいきいきサロンは、いろんな分野のご講師からお話が聞けるし、より多くの出会いがあるので、可能な限り参加をと心がけています。

広島ユネスコ協会のひと顔

福山大学非常勤講師

和田文雄氏



このたび、新会員になり、皆様との交流を楽しみにしています。
二年前に三十五年間勤めた高校教員を定年退職し、広島に帰ってきました。いまは週一回、大学で地理学と地理教育法を教えており、その教材研究に（追われ？）時間を贅沢に使っています。大学生

から生気をもらっています。

現在、ユネスコが主

導している持続可能な開発のための教育（ESD）は大学においても普遍的で重要な教育であり、その実践についての研究をライフワークとし、この点でユネスコ活動に貢献できれば、と考えています。
三十四年前より、健康のために続けていた毎朝の日課であるウォーキングの距離を六キロメートルに増やしました。あと半年半で地球を一周する予定です。

（6月）

3日／広報部会

（市民交流プラザ）
10日／平和・世界遺産部会
（市民交流プラザ）
10日／組織部会 ユネスコパンフレット編集会議
（芸備保険センター）
18日／主催事業日程調整会議
（国際会議場）

（7月）

5日／教育部会

16日／第一四七回ユネスコサロン「福島における原子力発電所の事故の状況」広島原爆放射線医学研究所教授星正治さん（広島国際学院大学袋町キャンパス）
16日／理事会（広島国際学院大学袋町キャンパス）